



# きよせ市議会だより

## 平成19年度の

## 決算を認定

平成20年  
第4回定例会

平成20年清瀬市議会第4回定例会は、12月5日(金)から25日(木)までの21日間の会期で開かれました。

今定例会では、平成19年度清瀬市一般会計決算及び国民健康保険事業、老人保健医療、下水道事業、駐車場事業、介護保険、受託水道事業の各特別会計決算に関する議案の他、市長提出議案(補正予算・条例等)7件、議員提出議案(意見書)5件、市民の皆様から提出された請願・陳情4件を審議し、1件の報告を受けました。

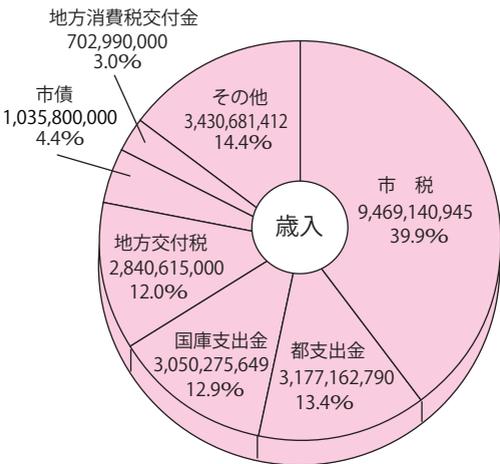
なお、平成19年度清瀬市一般会計決算及び各特別会計決算に関する議案は、11月に開催した決算特別委員会及び所管の常任委員会において、それぞれ審査が終わっていることから第4回定例会の初日に、委員長の審査報告を受け、採決を行った結果、平成19年度決算はいずれも認定されました。なお、提出された議案等の結果は6面に掲載しています。



平成21年1月11日 成人式にて

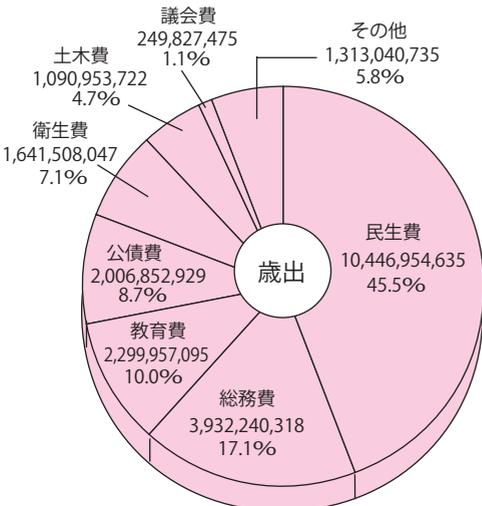
### 款別決算額比較表(図表)

#### ○歳入



歳入決算額 23,706,665,796円

#### ○歳出 (単位:円)



歳出決算額 22,981,334,956円

#### 一般会計歳入歳出決算内訳

## 決算のあらまし

平成19年度清瀬市一般会計の決算は、歳入決算額23億666万5千796円、歳出決算額22億9千813万4千956円で、決算残額7億2千533万840円のうち、繰越明許費繰越額1千640万円を除く、7億893万840円が翌年度への実質繰越額となり、昨年度に比べ4億5千67万7千507円の減額となっています。また、標準財政規模に対する実質収支額の割合である実質収支比率については5.2%となっており、前年度より3.8ポイント下回っています。歳入の決算額は、予算額に対し1億9千17万1千796円の増額となり、予算に対する収入率は、100.8%と、前年度より0.6ポイント上回っています。また、歳出の決算額は、予算額に対して97.7%の支出率となり、前年度より2.6ポイント上回っています。

## 平成19年度 一般会計決算討論要旨

#### 反対討論 日本共産党

07年度は、コミュニティバスの通年運行、乳幼児医療費の拡充、つどいの広場の増設が実現しました。一方、自公政治により増税と負担増が市民に押しつけられた一年でもありました。日本共産党は、負担増の影響が深刻に現れた低所得者層や高齢者、障がい者の方々の負担軽減を求めてきました。しかし、提案をしても検討すらしないという姿勢が、私

#### 賛成討論 清瀬自民クラブ

平成19年度予算は、市民が住み続けたい魅力的なまちづくりを見据え、厳しい財政状況の中編成された。決算では、次年度へ7億893万840円繰り越し、堅実な行財政運営がなされ、特に扶助費が増加する中、人件費の削減に努め、都総合交付金の増や税の収納率が向上する中で、都立清瀬東高校跡地取得の答申や子育て環境充実への子どもの発達支援・交流センター計画や学校耐震

#### 賛成討論 風

扶助費や公債費の増加により経常経費が増え、財政の硬直化が進んでいます。職員給与と制度の改革や明確なポリシーに基づいた市税の収納対策により東京都の総合交付金が大幅な増額となったことは率直に評価します。都立清瀬東高校跡地の利用方法や、元町の市民センターのリニューアル、子どもの発達支援・交流センターの検討などはいずれも市にとって重

たちとの決定的な違いであり、反対する理由です。保育園の待機児は、4月の時点で48人、旧定義では81人です。弾力化で対応できる範囲を超えており、認可保育園の定員増を図るべきです。国保税の滞納者に資格証明書を発行するべきではありません。まして、子どもがいる世帯にまで発行することは許されません。生活再建を支援する取り組みを求めます。

化、安全・安心の特産化野菜ハウスの推進、消防団通報システムの整備等実施され、将来へ続く豊かな自然と農ある風景、医療、福祉と関係大学の集積を歴史的な財産とし育むまちづくりの評価は、全国で行政サービス度3位、教育分野で6位と堅実に歩んでいる。今後のまちづくりへの道筋を示す後期基本計画実施に向け、さらに行財政改革の推進を求め、賛成討論とする。

要な課題です。ハード面の整備のみならずソフト面の運営についても留意してください。コミュニティバスの運行は利用者の利便性と収支のバランスを常に考慮した事業展開を求めます。平時には基金を積み財政的な体力を身につけ、今後迫る大不況に対しては、市民生活を守るためそのときどきの行政需要に対応できる市政運営を引き続き求め賛成します。